

憲法改悪を許さない全国署名

各地でこんな取り組みが [54]

2023年2月13日

9条改憲NO! 全国市民アクション 連絡先 メール info@kaikenno.com ☎03-3221-4668

◆平和か戦争か—戦争の安保3文書を撤回せよ!

◆**沖縄県民の世論は「反撃能力(敵基地攻撃能力)保有反対」55.6%、「防衛力強化の方針を支持しない」51.9%**(琉球新報世論調査・同紙1月31日付)と明確。
全国も続こう!

◆「大軍拡反対」の一点で団結・共同を!

◆**「平和、いのち、くらしを壊す大軍拡、大増税に反対する請願署名」**(1月10日共同代表会議で取り組みを確認・別添参照・ホームページには別途収録)と**「憲法改悪を許さない全国署名」**の推進、知い・知らせる宣伝・対話で**「岸田軍拡反対」の世論を!**

各地の取り組みから

北海道 「大軍拡も改憲もだめ!」 -9℃のスタンディング **帯広市**

十勝・帯広九条の会連絡会は2月3日、氷点下9度の冷え込みの中、帯広駅南側の広場で定例の「3の日」行動を取り組みました。十勝管内の各九条の会から参加した13人が、スタンディングで大軍拡・大増税反対を訴え、署名の協力を呼びかけました。

通りかかった女性が、「国会で議論する前に閣議決定で軍備増強の方針を決めたのは恐ろしい。2度と戦争する国にたくありません」と足をとめ対話し署名しました。

参加者たちは、行動の最後に「大軍拡・大増税反対」「憲法改悪を許すな」とコールしました。

宮城 **九条の会が宣伝・署名、学習会の成果生かし対話** **仙台市**

宮城県内九条の会連絡会は2月7日、「憲法改悪を許さない全国署名」を呼びかける宣伝署名活動を仙台市青葉区の繁華街で取り組みました。16人が参加した行動では、「9条改憲STOP! 戦争NO! 一私たちの平和憲法を、未来へ!」の横断幕を掲げ、「武力でなく対話と外交が大事」とのチラシも配布する中、29人が署名しました。

マイクから主催者が、安保3文書をめぐる国会論戦で明らかにされた点—自衛隊が「反撃能力」を発揮すれば報復攻撃を受けることになり、その結果日本に大規模な被害の発生が否定できないという浜田防衛大臣の答弁を紹介し、日本が焦土となることを防衛大臣も認めざるを得ないのが3文書の方針であると指摘しました。署名に応じた59歳の女性は「不安だ。強硬な姿勢で回りの国ぐにを煽ってしまう。守る力は必要だと思うが岸田首相は過剰すぎる」と思いを語りました。

1月25日の学習会(仙台市で開催された総がかり行動実行委員会が呼びかけたブロッ

ク別取り組み〔既報〕に参加していたメンバーは、対話で安保3文書の危険な内容と、今こそ憲法9条を生かすべきことが対案だと訴え、署名の協力を得ました。

福島 「署名で岸田NO！の意思を示したい」 **福島市**

9条改憲NO！福島県市民アクションは2月9日、福島市内でスタンディング宣伝と署名の訴えを行いました。

閣議決定された安保3文書には敵基地攻撃能力の保有、そのための武器の購入、それに必要とする5年間で43兆円を確保するために大増税も予定されていることが明記されていること、大軍拡に反対し、戦争を絶対にしないため力を合わせなければならないことを訴えました。

スピーチに呼応して20代の女性が、「その通り。このままでは本当に戦争になってしまう。意思表明したいがしばらくの間国政選挙がない。署名で気持ちを表わしたい」と署名する場面もありました。

岐阜 「無関心ではだめ」と高校生が訴えに聞き入る **岐阜市**

岐阜・九条の会は2月9日、岐阜市の名鉄岐阜駅前で宣伝しました。行動には12人が参加し、戦争準備の大軍拡、敵基地攻撃能力保有はやめよと訴えました。3人の高校生が「無関心ではいけない」と最後まで参加し、訴えに耳を傾けました。

スピーチでは、LGBTQの差別発言で更迭された首相秘書官や自民党と統一協会との癒着問題の批判、5年間で43兆円の大軍拡は戦争準備そのものであり、安保3文書の撤回・廃止に追い込もうと訴え、敵基地攻撃能力の拡大によって相手国も対抗して軍拡を進め、後戻りができなくなること、日本に置かれている米軍基地も岐阜基地も攻撃対象となること、戦争は人の力でとめることができると訴えました。

香川 「武力で平和はつukれない」 野党代表もスピーチ **高松市**

香川県高松市の商店街で2月6日、**九条の会と革新懇**が呼びかけた大軍拡・大増税に反対する宣伝行動が展開されました。参加者は「武力で平和はつukれない」などの横断幕やプラカードを掲げ、市民にアピールしました。

行動には立憲民主党の高田良徳県議、日本共産党の藤沢やよい高松市議、社民党の三野ハル県連代表、新社会党の井角操県本部委員長らも参加し、スピーチしました。

愛媛 「軍事費増反対、岸田首相への意思表示の場が欲しい」 **松山市**

愛媛県松山市で活動する**守ろう憲法9条石井の会**は2月3日、市内・久兵衛通りで宣伝行動を取り組みました。行動には12人が参加、「敵基地攻撃能力保有反対」「巡航ミサイルトマホーク買わない」「軍事費増やすな」などと大書きしたプラカードを掲げアピール、岸田政権の大軍拡・大増税、社会保障切り捨て方針を批判しました。

弁士の訴えを聞いていた70歳代の女性2人連れは口々に、「軍事費を増やすなんてとんでもない。岸田首相が言っていることはチャランポラン。物価は上がる、年金はあがらない。私たちは岸田首相を選んでいない。意思表示する場所が欲しい」と語りました。

福岡 「生まれた子どもたちのために軍拡・戦争絶対反対」 **北九州市**

平和をあきらめない北九州ネットは2月8日、北九州市のJR小倉駅と折尾駅前で「平和、いのち、くらしを壊す大軍拡、大増税に反対する請願署名」を呼びかける緊急行動を取り組みました。小倉駅前では、「軍拡NO！増税NO！」の巨大な旗を掲げ、リレートークが行われました。

署名に応じた60代の男性は、物価高騰を怒り、「こんなばかなことはない。軍拡に使う金があったら福祉に回してほしい」と生活保護を受給していることも語り、怒りをぶつけていました。また、ピラを受け取った専門学校生徒の女性は、「これからの日本がどうなるか不安、岸田首相の主張は腑に落ちないことばかり」と述べました。行動に参加していた30代の女性は、「3人目の子どもを出産したばかりだが、今の政治の中で産んでよかったのか考えてしまう時がある。子どもたちのために軍拡・戦争は絶対に止めたい」と決意を語っていました。